

日中友好協会 八王子支部ニュース



みんなで参加・多彩な活動! 届けよう・大きな“わ”! 佐藤副支部長: FAX:042-645-8415

2023. 9. 24 中国映画を見る会

「少年の君」鑑賞と懇親会

「いい映画だったね」 帰る方々から出た言葉です。

衝撃的で息もつかせぬ展開、そして胸が熱くなり、涙がほほをつたう映画でした。

いじめで飛び降り自殺した高校3年生。大勢の同級生がその姿をスマホで撮影する場面から始まります。中国のとある都市、多くの受験生が必死に勉強する学校が舞台です。豊かに暮らす人にとっては、当たり前受験戦争かもしれません。けれど生活が厳しく、そこから抜け出すには「いい大学」に入ること、家族が幸せになるためには「北京」に行くことが目標です。それを「大人になる」と陳念(チェン・ニェン)は表現します。いたたまれない気持ちで、死んだ同級生の体の上着をかけたことから、いじめの矛先が陳念に向かいます。そんなある日、学校の帰り道に不良たちに殴られている少年を見かけ思わずかばいます。それがストリートで生きる小北(シャオベイ)との出会いです。

小北にボディガードを頼み、小北の家で勉強する陳念。勉強中の会話で、



本の中に書かれた「どぶの中でも見上げると、青い空(ちょっと不確か?)という詩に小北は「甘いな!!」のひとこと。そして育ってきた環境を語ります。格差の進む現実、抜け出すことのできない社会、自分の力で生きていくことしかできない少年たち。

陳念は成績優秀ですが、学校の中で壮絶ないじめにあいます。それは競争相手を蹴落とすため? いたたまれない気持ちのはけ口を求めるため? 目をおおいたくなるほどのいじめ。心が病んでいる、と思いました。でも病んだ子たちを生み出したのは病んだ社会なのです。二人を見つめ続けてくれる若い警察官が救いです。



映写がうまくいかず、途中まで集中できない時間があり、申し訳ありませんでした。

最後の方にとっても素敵な言葉が語られるのですが、それはここでは割愛します。再び上映する日のために。

懇親会

映画会のあと、初めて懇親会を持ちました。映画会に来た全員の方が参加くださいました。

中国に行かれた方々が、中国の都市戸籍と農村戸籍の違い、それは食糧確保を優先する政府の考えによるものであること、都市と地方の生活落差、中国の受験制度(高考)の厳しさなどについて語ってくださいました。

「この映画は中国社会の問題をとりあげているけれど、中国で上映されたのですか?」という質問ができました。調べたところ、2019年に上映、250億円近い興行収入を得たそうで、アカデミー賞にもノミネートされていました。

「今だけ、カネだけ、自分だけ」という政治が日本、日本のいじめ問題も深刻、報道されているのは氷山の一角、事実を知らなければいけない。軍拡なんて言ってる場合ではない。食糧も自給できないのは問題!!等々、今の日本や中国に対する疑問、質問、意見があいつぎました。(加藤)



先日オンライン講演で、京都大学医学部臨床教授の吉中丈志さんの「731 部隊と大学」という講演がありました。

吉中さんは『731 部隊と大学』という本を、編纂された方で、その本の「はじめに」には、次のように書いてあります。「京都大学医学部創立百周年に際して発行された記念アルバム『近衛町無番地』



(京都大学医学部創立百周年記念写真集編纂室、2004年)の中で、本庶佑氏(当時医学部長、その後ノーベル医学・生理学賞受賞)は、「残念なことに(中略)京都大学医学部と戦争との関わりについての掘り下げは誠に不十分である」として、731 部隊に関する検証は残された課題だと示唆された。」

そこで、吉中さんは、京大の成り立ちから、戦時中のことなど、いろいろ述べられましたが、その中で、印象に残ったのは、今でも、京都大学出身者と他の大学出身者との差があり、医局講座制、学閥、姻戚が織りなす徒弟制度のようなものが存在すると言う事です。京大出身の本庶佑さんの銅像は建つが、他大学出身の例えば山中伸弥さんの銅像は建てないとか、そんなことがあると言う事です。

現在でも、医局講座制、学閥、姻戚が今でも大きく影響していると言う事は、驚きでした。

京大と言えば、石井四郎の出身校であり、多くの京大の若き研究者が731 部隊に行きました。本庶さんが、掘り下げが不十分と言っても、それは文科省や国が資料を隠し、京大も十分に731 部隊のことを明らかにしようとしめない姿勢があるのではないかと、私は思います。

731 部隊長であった石井四郎は京大医学部の出身であり、石井の恩師の清野謙次は、731 部隊に対しては病理解剖の最高顧問を務め、人材確保・指導などに「異常なまでにこ入れした」とされる人物です。清野謙次は、又、人骨収集などで有名であり、その人骨の返還を巡って今問題になっています。ウィキペディアには人骨の返還問題として次のような記述があります。「清野が主に大日本帝国の植民地(外地)であった地域からコレ

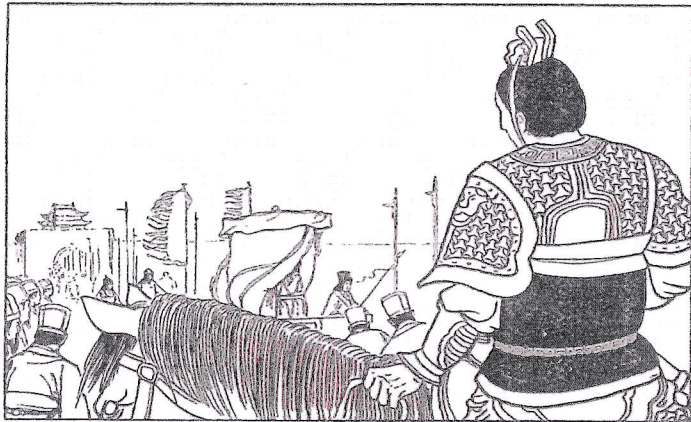
クションした人骨は、約1500体にのぼる。アイヌ民族の子供の遺骨を無断で墓から掘り出しているなど、倫理的な問題が指摘されており、清野に祖先の人骨をコレクションされた沖縄やアイヌの人らが、京大に返還を求めている。」

それから、やはり中国の被害者の事も忘れてはなりません。2010年に、京大と東大の医学部長が被害者遺族の女性と面会して謝罪したと言いますが、まだまだこれでは正式な謝罪にはならないと思います。国が、人体実験や細菌戦を認めてきちんと謝罪をしなければ、本当の謝罪にはならないと思います。

731 部隊は、毒ガス部隊と一緒に毒ガスの実験もしていました。そして日本軍は、その実験をもとに毒ガス兵器を、中国で使用し、遺棄してきました。戦後、遺棄してきた毒ガスで多くの死傷者が出ていますが、日本政府はそのことに無関心で、吉中さんなどが参加され、民間で基金を作り、小さな支援活動をしているのが現状です。毒ガス被害者、細菌戦被害者に対する日本政府の態度は、本当に冷淡です。

また、今年の日本医学会総会では、「未来への提言」がなされ、731 部隊の事も入り、画期的な提言となりました。(以下、提言から)「わが国も、これまで医学・医療の名において、人々に大きな犠牲を強いた過去を持つ。戦時中に石井機関と731 部隊で中国人やロシア人等を対象とした非人道的な人体実験が広範に行われ、この研究には当時の日本の医学界をリードしていた大学教授たちが多く参加していた事実がある。その後も、ハンセン病患者に対する強制隔離や優生手術を行った事件や薬害エイズ事件等の重大な事例、さらには、「旧優生保護法」に象徴される生命倫理原則や基本的人権、インフォームド・コンセントの蹂躪が起こった。」と731 部隊のことが取り上げられ、これからこの反省を踏まえてどうするのが大きな問題になっています。

ところが、この提言をまとめた門田守人会長は、2週間前(9月7日)に急逝されたとのことでした。731 部隊の文書を古本屋で見つけ、又自衛隊の事なども調べていた兒嶋俊郎さんや、反原発で頑張っていた「あさこはうす」の熊谷あさ子さん、門田守人会長の急逝には、何か裏で動きがあったのではと考えるのは私一人だけでしょうか?



画像出典元: 珍藏懐旧版四大名著連環画「三国演義」

董卓は、貂蟬を呂布に差し出すこととした。董卓の命を受けた李儒は、呂布にその旨を伝えた。呂布は大変に喜び、婚姻の宴の準備を始めるのであった。

貂蟬は、董卓に閣下はもう私のことをお嫌いになったのですかと尋ねる。董卓は、返答に困ってしまい、そのようなことはないかと取り繕うばかりであった。董卓は、李儒を呼びつけ、貂蟬を呂布に差し出すことは撤回する旨を命じたのであった。李儒は、さすがに困惑し、それでは呂布は納得しないと助言する。しかし、董卓は、呂布の君主は自分であることを強弁するだけであった。

李儒は、困り果て、このことを呂布に報告するのであったが、呂布の怒りは報告するまでもなく、わかりきっていたことであった。呂布は、準備していた宴をぶち壊し、赤兎馬に跨り城中を駆けていった。すると王允に出くわす。

王允は、呂布と言葉を交わすが、呂布の不機嫌は王允も察するところであった。呂布は、自分が世間の笑いものであることを告白する。王允は、自分の手際が悪く呂布を世間の笑いものにしてしまったことを詫びるのであった。呂布は、王允のせいではない、自分とはとえ董卓を殺めてでも貂蟬を手に入れると宣言するのであった。これを聞き、王允は不敵な笑みを浮かべ、それは本当でございませうか。と聞き返すのであった。

呂布は、血判状を書留めて王允に差し出すのであった。
(熊谷市けやき法律事務所)

けいたの話 ⑥

力を合わせて歴史を動かそう

9月2日、国会議事堂前にて「キャンドル集会」が行なわれました。日本人や在日朝鮮人のほか、韓国や中国からはるばるいらした方々が参加されました。

関東大震災では、日本軍、警察、自警団によって朝鮮人・中国人の方々が虐殺されました。これを引き起こしたのは、紛れもなく政府であります。虐殺は政府によって行われたのです。更には、虐殺された遺体を河川などに放棄し隠蔽、実態調査を妨害して虐殺を正当化しました。また、保護を名目に習志野収容所へ強制収容して虐待していたことも判明しています。これは百年前のことです。百年を経てもなお、政府が事実を隠蔽しているために全貌は明らかとなっていません。

現代日本では朝鮮人・中国人の方々に対する国民一体の差別的な態度が根強く残っていますが、これは少なからず虐殺事件に於ける隠蔽工作の影響があるでしょう。虐殺の責任から逃れ続ける日本政府は今すぐに行動を改めるべきです。

日本政府は、関東大震災朝鮮人・中国人虐殺事件の真相を明らかにしなさい。

日本政府は、国家としての責任を認め、相応の謝罪と賠償をしなさい。

日本政府は、正しい歴史教育を行い、犠牲者の名誉回復に尽力しなさい。

日本政府は、民族差別的政策を廃し、尚且つ再発防止に於ける最大限の措置を執りなさい。

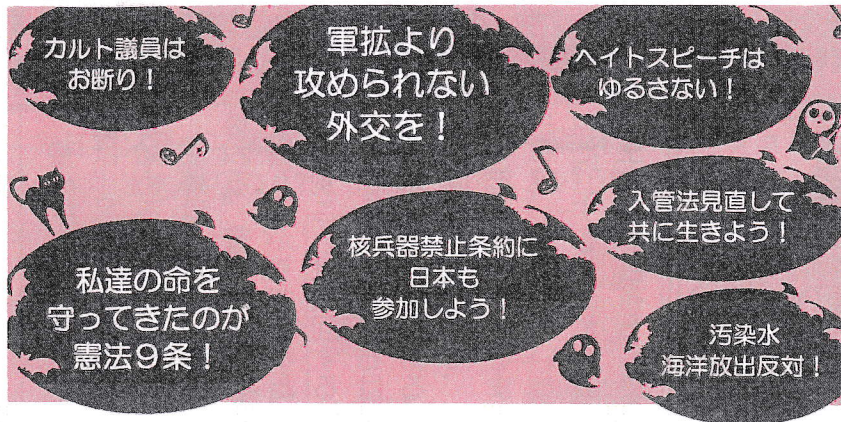
今回の集会では、延べ1,700人の参加者と174,000円のカンパが集まったそうです。

反動派の乱入がありましたが、みな物ともせずやり切りました。

歴史修正を許さない！
民族差別を許さない！
日本に住む全ての人々が力を合わせましょう。
その力が歴史を動かします。



(高校2年 松永健汰)



第 99 回

NO WAR! 八王子アクション

2023 年 10 月 15 日(日)14:00~JR 八王子駅北口
15:30~船森公園からパレード

山越拓児さんの
世相を映す替え歌⑩

「やめろ ばんぱく」 ～「せんせい」(森昌子)

♪甘い汁を吸いたいと
たくらんでいる維新の会
軟弱地盤の夢洲(ゆめしま)へ
カジノ誘致にこたわって
国民・府民の税金で
インフラ整備を進める気
大阪 万博——やめろ ばんぱく

♪声を限りに叫んでも
建設すすまぬパビリオン
「残業規制を取り払え」
命と安全ないがしろ
増えてく費用も 国民に
負担させてく この異常
大阪 万博——やめろ ばんぱく

♪財界、大企業、メディアまで
包括連携協定結んでる
大阪 万博——やめろ ばんぱく

第 19 回生涯学習フェスティバルへ参加

私達、日中友好協会八王子支部は、今年は、5 年振りに生涯学習フェスティバルに参加します。これはクリエイトホールで毎年行われる、八王子市教育委員会主催のフェスティバルです。

日時: 10 月 28 日(土)午前 10 時~午後 5 時

会場: 八王子市生涯学習センター クリエイトホール

日中友好協会八王子支部 10 階 第 3 学習室

テーマ: 中国文化にふれよう

メッセージ:

日本と中国とは歴史の上でも文化の面でも深いおつきあいのある国。二胡の演奏、中国書画・写真等を通して、中国文化に触れ、平和な両国関係を築きましょう。



《日中友好協会八王子支部日程》

10 月 22 日(日) 10:00~八王子支部理事会 (ファルマ)

10 月 28 日(土) 生涯学習フェスティバルに参加

「中国の文化にふれよう」

11 月 26 日(日) 10:00~八王子支部理事会

版画教室 13:30~ 講師: 奥田さが子さん

12 月 12 日(火)~18 日(月) 八王子市中央図書館地下展示室

第 2 回「731 部隊・原爆・ビキニ」展

八王子支部ホームページ:

<https://nittyuyukohachioji.web.fc2.com/>

たのしく版画に挑戦



来年の干支は龍。
でも干支にとらわれず、楽しく版画に挑戦してみよう。材料・用具はこちらで用意します。汚れてもよい服装で。

11 月 26 日(日) 13:30~

アミダステーション 2 階

講師: おくださがこさん

必ず申込みをおねがいします。

申込先: 中道 042-664-5980

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月 2 回発行のタブロイド判 8 P の新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購読下さい。

1 ヶ月 550 円 (送料込み) 購読申込 042-645-8411 : 佐藤